

# おおぐち

Oguchi

## 議会だより

9月定例会 No.174  
平成20年11月1日

発行：愛知県大口町議会  
町の木「モクセイ」

19年度一般会計

**決算は6億円の黒字**

4

農業公園構想は実現しているか (一般質問) 8

**小学校での外国語活動は** (一般質問) 12

まちの施策に生かして (委員会視察報告) 16



ポツポツと落ちてくる小雨を物ともせず、  
舞台いっぱいにはじける南小5年の桜魂。  
子どもたちの気合いと、踊り終えた充実  
感が伝わってきます。



# 法人町民税 22億円 過去最高を記録

9月定例会は3日から26日までの24日間の会期で開かれました。

町長の提出議案は、19年度決算認定のほか12議案、議員提出議案は意見書提出を求める議案など9議案が提出されました。最終日には人事案件の撤回がありました。

採決の結果、後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書など4議案は否決、他の議案はいずれも可決しました。

一般質問では7人が、町政全般にわたり質問をしました。

法人町民税22億円、町税全体で64億円という過去最高額を記録した19年度の歳入は、企業の好景気によるもの。言ってみれば「タナボタ」で得られた大豊作です。

米国のサブプライムローン問題に端を発した金融危機は、日本にも少なからぬ影響を及ぼしています。19年度決算のような黒字が20年度以降も得られる保証はどこにもありません。

恵まれた環境に甘んじることなく、将来への備えも十分に整えておきたい。

＝9月15日現在のコメ作況指数は102「やや良」と発表されている。

**9** 月定例会に19年度  
の決算認定が提出  
されました。一般会計と  
特別会計を合わせた歳入  
が160億円、歳出が  
153億円という大型の  
決算です。

意見書を送付しました。  
○可決 ●否決

○学級規模の縮小と次期  
定数改善計画の実施を  
求める意見書

○国および愛知県の私学  
助成の増額と拡充に関  
する意見書

○道路整備の促進と財源  
確保の意見書

●後期高齢者医療制度の  
廃止を求める意見書

●後期高齢者医療制度を  
選択しない65歳から74  
歳の障がい者に、医療  
費助成制度の適用を求  
める意見書

●国民生活を守るため原  
油・燃油高対策を求め  
る意見書

●食料自給率の向上を求  
める意見書

**教** 育委員（教育長）  
の井上辰廣氏の任

期が9月30日で満了にな  
るため、同氏を委員に再  
任する議案が提出されま

した。最終日の26日に町  
長から撤回したい旨の申  
出があったので、議会は  
撤回を承認しました。

議員提出議案として、  
国や県に意見書の  
提出を求める議案があり  
ました。可決した議案は

# 昭和用水を 地下水路に

1億7360万円



工事後は道路の下に埋設される昭和用排水路  
=竹田一丁目、水路の左はヤマザキマザック  
(株)の建物

ヤマザキマザック(株)

本社北側の昭和用排水路  
を地下水路にします。

当初は、21年から3年  
間で工事を計画していま  
したが、ヤマザキマザッ  
クが敷地内で行う工事と  
同時に施工すれば経費が

大幅に削減されることか  
ら、計画を前倒しにして  
着手するものです。

完成すれば、片側に歩  
道のある幅員10メートル  
の道路になります。

同時に施工すれば経費が

リサイクルセンター

## 駐車場拡張

4615万円

資源リサイクルセンタ  
ーの駐車場が手狭になっ  
たので、センター西側お  
よび東側に拡張し、駐車  
場・資材置場を整備しま  
す。予算額は用地購入費・  
造成費・賃借料などです。

屋上からの雨漏りを防  
止するため、中央公民館  
と豊田学共の屋上防水工  
事を行います。

内訳は、中央公民館  
990万円（設計監理を  
含む）、豊田学共500  
万円です。

## 屋上防水工事

1490万円

## サッカーくじ助成金

2230万円

この助成金は地  
域のスポーツ施設  
を整備したことに  
対する助成金で、  
対象となった事業  
は野球グラウンド  
の芝生化工事です。  
助成される金額  
は事業費の75%で  
す。



根が張るまで養生してある野球グラウンドの芝生

**20** 年度一般会計の歳  
入は、決算に伴う  
19年度の繰越額を4億  
3240万円、固定資産  
税1億円を追加補正しま  
す。一方、歳出では財政  
調整基金に3億120万  
円、道路整備に1億73  
60万円を追加します。

**議**

議員提出議案として、  
国や県に意見書の  
提出を求める議案があり  
ました。可決した議案は

財布の

# まちの健康診断

## 一般会計

# 6億円の黒字

## 法人町民税44%増が要因

表1. 19年度歳入歳出決算額

会計名	歳入	歳出	差し引き	
一般会計	111億7935万円	105億7695万円	6億240万円	
特別会計	介護保険	7億5353万円	7億2732万円	2621万円
	国民健康保険	19億3万円	18億895万円	9108万円
	老人保健	12億2311万円	12億2311万円	0
	国際交流	63万円	1万円	62万円
	公共下水道	9億3519万円	9億3464万円	55万円
	農業集落家庭排水	2410万円	2410万円	0
	社本育英	118万円	35万円	83万円
合計	160億1712万円	152億9543万円	7億2169万円	

※単位未満を四捨五入

**一** 一般会計の歳入が111億7900万円、歳出が105億7700万円、差し引き6億円余りの黒字という大型の決算でした(表1参照)。18年度と比較すると、歳入歳出それぞれ35%程度のアップです。

**町** 税の決算額は前年度より10億8200万円多い過去最高の64億2400万円(前年比20・3%増)を記録しました。

主な要因は、好調な企業業績を受け法人町民税が22億1300万円(前年比43・6%増)になったこと、所得税と住民税との税源移譲で、個人町民税が13億2100万円(同26・2%増)になったことが挙げられます(図1参照)。

**歳** 出の増加は、中学校の建設により教育費が27億

45億4100万円

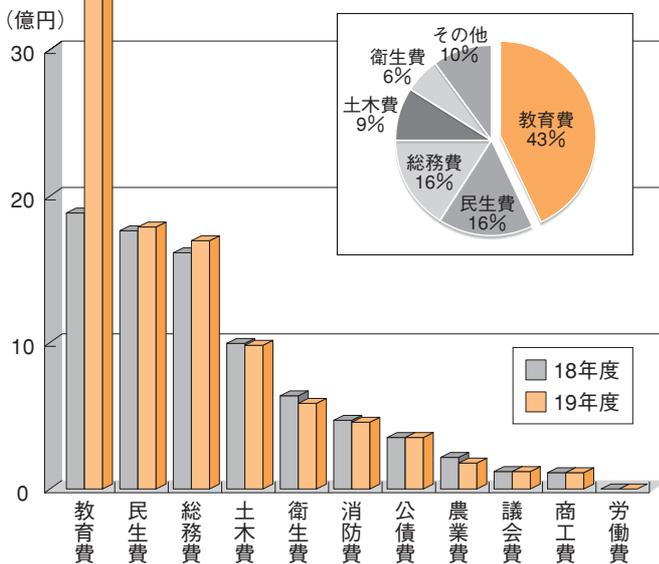


図2. 費目別支出の比較

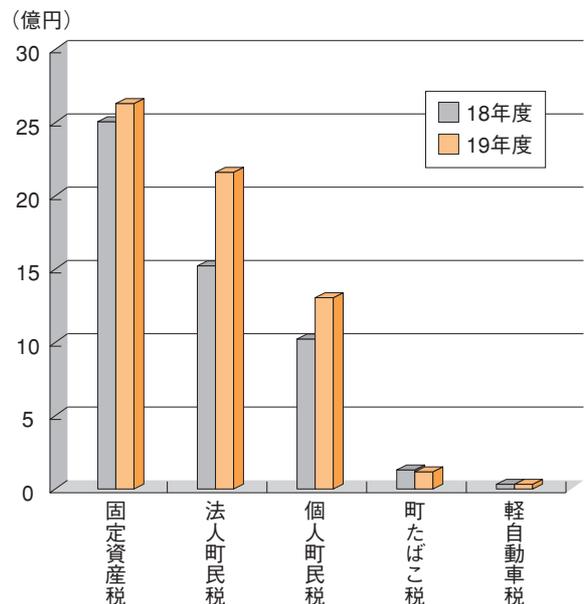


図1. 税目別収入の比較

表2. 財政力の推移

	17年度	18年度	19年度
財政力指数	1.43	1.48	1.61
経常収支比率	72.9	64.3	61.2
実質収支比率	6.3	8.6	9.1
公債費比率	3.1	2.7	1.7

用語の解説

○財政力指数

標準的な行政の仕事を行うのに必要な費用をどれだけ自前で調達できるかを示す指標。数値が1以上なら「財政が豊か」とされて普通交付税が交付されない。

○経常収支比率

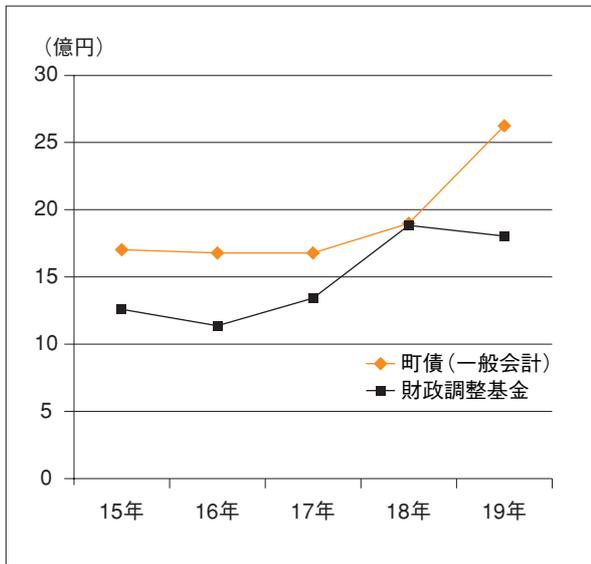
人件費などの経常経費が一般財源をどの程度占めるかで財政の弾力性を示す。75%以下が適正。

○実質収支比率

実質収支額を標準財政規模で割ったもの。3%から5%程度が望ましい。

○公債費比率

一般財源に占める公債費(借金返済)の割合。10%を超えないことが望ましい。



これを一人当たりになると

表3. 一人当たりの借金と貯金

単位：円

	15年	16年	17年	18年	19年
町債(一般会計)	79,285	78,005	77,974	89,470	120,999
財政調整基金	59,775	55,114	62,116	88,189	84,060

※各年度の決算額を4月1日現在の人口で割って算出

**地** 方公共団体の財政状況をあらわす指標に、財政力指数、経常

7700万円増の45億4100万円になったこととです(図2参照)。このうちの33億円ほどが建設に要した費用です。

費目別構成比をみても教育費が40%を超えていますので、19年度の歳出においては中学校の建設工事が際立っていたことが分ります。

収支比率などがあります(表2参照)。

実質収支比率は9.1%ですので、3%から5%が望ましいとする値から外れています。

これは、想定を超えた法人町民税の納付があったために、実質収支額が膨らんだことによるものです。

他の指標をみれば、健全な財政運営がされていると判断できます。

**し** かし、健全とわかれてもなんとなくピンとこないのではないだろうか。そこで、住民一人当たりの借金と貯金はいくらあるのか、その視点で町の財政(家計簿)を計算してみました(表3参照)。

一般会計の町債(借金を一人当たり換算すると約12万円になります。19年度の実質収支(歳入と歳出の比較)が6億円の黒字でしたので、一人

**で** すが、19年度のような税金が今後も

当たり約2万8000円の黒字の繰り越しを出したことになります。財政調整基金(貯金)をみると、住民一人当たり約8万4000円の蓄えがあります。

つまり、ほぼ完済可能な貯えを持ちつつ、長期で負担した方が望ましいものに限って借金をしていることがうかがえます。

継続していくとは考えられません。

決算特別委員会(委員長 田中一成)では、無駄な支出はないか、効率的な行政運営がされているか、予算執行は適正かなどの審査をし、今後の町政運営に提案も行いました。

決算特別委員会・本会議とともに、賛成多数で決算を認定しました。



爆音をとどろかせながら水上を走り回るホバークラフト  
= 8月3日、五条川自然塾で

# 訓練に使わないと意味がない 場所があれば検討したい

**問** ホバークラフトの稼働状況と維持費は。

**答** 年1回、五条川自然塾のときに消防団のPRとして使用している。

維持費は車検費用の19万3000円。

**問** 防災訓練に使わないと意味がないのでは。

**答** 訓練会場に近い場所で、ホバークラフトを運転できる場所が確保できれば考えたい。

## 廃止か、存続か

### 前納報奨金

**問** 「前納報奨金制度の検討をする」と主要施策の成果報告書に書かれている。廃止の検討か、それとも継続の検討か。

**答** 住民税（普通徴収）の前納報奨金は、廃止を検討している。

**問** 分納者が増えれば事務量の増加、税収の遅れによる事業への影響が懸念される。

**答** 事前に十分な周知を行い、理解を得て進めていく。前納報奨金を廃止した市町の状況を確認したが、心配するような影響は出ていない。

## 行政区一括交付金

**問** 行政区一括交付金の金額は18年度と比べると

少ない。防犯灯の設置などを補助対象に増やしたので、交付額は増えるはず。一括交付にして、個々の金額を減らしていないか。

**答** 区長の要望を聞いて、年度当初と実績による交付に分けた。

事業を縮小した区の交付額が前年を下回ったので、トータル金額も下がった。

交付金の計算方法が実情に合わないということなら見直しも考えたい。

## 北児童クラブ

**問** 北児童クラブの定員がオーバーしているため対策が望まれると成果報告書に書いてある。具体的にはどういう対策か。

**答** 定員35人に対して8人オーバーしている。潜在的な希望者はまだあると聞く。別の場所でもできる可能性があれば、それも視野に入れて検討したい。

## 滞納すると3割に

### 介護サービス

**問** 定員の基準は。児童数35人に対して2人の指導員が必要。部屋の広さでは、児童一人当たり1・6平方メートルの基準がある。

**問** 介護保険料を滞納すると、介護サービスはどうなるか。

**答** 通常1割負担のものが3割負担になる。

1年間滞納すると、1時的に10割負担となる。滞納がなくなれば1割に戻るが、2年以上滞納を続けると3割負担となる。

**問** 滞納した保険料が時効消滅してしまったら、ずっと3割のままか。

**答** 分納してもらえれば、時効は中断される。

## 介護予防教室

**問** 介護予防として、「貯筋運動ひろめ隊養成講座」が6回実施された。どういう目的のものか。

**答** 豊田・中小口・余野の3地区で、保健師が中心になって介護予防教室を開いている。こうした教室を各地区に広めるため、お手伝いしてくれる人を養成するための講座である。

## 機材持込みに支援

### 芸能文化事業

**問** 芸能文化事業の中で、音響・照明機材の持ち込み費を支援する旨の記載がある。どういうことか。

**答** 町民会館の音響や照明設備は老朽化しており、十分な機能が果たせない。この修繕には数千万円かかる。利用回数などを考えると、団体からの機材

# 質疑あれこれ

決算特別委員会で繰り広げられた質疑の中から主なものを要約してお知らせします。

の持ち込み費を支援する方法で、芸能文化事業を継続させたい。

**問** どの団体に対しても支援を行っていくか。

**答** 事業内容を精査した上で必要があれば支援する。

## 地盤の再調査は 中学校プール

**問** 中学校建設でプールの地盤改良工事を行ったその後、追跡調査は行ったのか。

**答** 地盤改良後に地盤の強度を調べる最終試験を行った。十分な強度を確認してプールを建設したので問題はない。

## ふれあい池

**問** ふれあい池管理事業として毎年350万円ぐらゐ支出している。利用者も減っていると聞くと、事業の見直しも検討されては。

**答** 先日も親子釣り教室を開催した。今後も委託先とアイデアを出し合いながら進めていく。

## 木造住宅耐震診断

**問** 19年度の木造住宅耐震改修費補助金の申請は1件のみ。これまでに何件の申請があったか。

**答** 15年度から19年度までに6件あった。

**問** 補助金の上限60万円がネックになっていると思われる。耐震改修を進める手立てはないか。

**答** 地震防災マップや町のホームページ、広報などで地震に対する備えの必要性を周知してきた。顕著な効果は表れていないが、今後も周知に努めたい。



倒壊した家屋から被災者の救出をする丹羽消防署の隊員＝9月6日、大口町防災訓練で

## 中小口の予定は

### 国土調査

**問** 中小口地区の国土調査（地籍調査）はいつごろ計画されるのか。

**答** 中小口の区画整理事業に合わせて国土調査を予定している。

**問** 区画整理の区域外だけでも先にできないか。

**答** 区画整理と同時期に行いたいが、状況によっては考える。

## 賛成討論

丹羽 勉議員

企業の好景気を背景に財政調整基金等へ増資を行うことができた。

施設等の集中管理、補助金の整理統合、住民との協働、受益者負担の見直しなど適切な対応が図られた。

予算の執行にあたっては、それぞれに効率的な運営が行われ、適切に処理されている。

## 反対討論

吉田 正義議員

定率減税の廃止で増税になった。また、介護保険料や国保税の軽減が受けられなくなった人もいる。庶民には大増税ばかり。延長保育料の負担増も許せない。

不要と思える支出がある一方で、高齢者を思いやる事業を削るなど、豊かさが実感できない。

## 採決の結果、可決

(賛成12、反対2)

ここが聞きたい!

一般質問

# 町政を問う

9月定例会の一般質問は  
7人が質問しました。  
9月議会はクールビズで行いました。

一般質問 土田 進議員

## 農業公園構想は実現しているか 部長 食と農への関心が高まった



土田 進議員

### 土田

全町農業公園構  
想が提案されて

から5年半が経過した。  
農業公園構想は、農地の  
持つ多面的な機能を利用  
して、農業の活性化、食  
料自給率を高める施策で  
ある。

① この5年間にどのよ  
うな事業が行われ、それ  
をどう評価しているか。  
② このまま継続してい  
ても大した成果は上げら  
れない。推進策はないか。

### 環境建設部長

① 朝  
市の実

施、古代米の栽培、れん  
げ祭りの開催、生ごみの  
堆肥化事業などを行った。  
評価として、食と農に  
対する関心の高まり、住  
民との協働が広がりつつ  
あると感じている。

② 農業が「業」として  
成り立つ仕組み作りに取  
り組みたい。  
大口町には他の市町に  
はないハイテク工場が多

### 町長

農業の推進に理  
解と興味を持つ

てもらえるよう全町農業  
公園構想を策定した。農  
業を未来型産業と位置付  
け推進したことは忘れて  
いないし、今も方針に二  
言はない。

しかし、現実に農業が  
置かれている環境は非常  
に厳しい。行政が何らか  
の支援をし、工夫する必  
要があると思っています。

### 土田

町が推進してい  
る「菜の花エコ

プロジェクト」は農業公  
園構想の理念に合致する。  
今後も積極的に進めてい  
くべき事業である。

① 今後はどのように推  
進していくか。  
② 菜の花の収穫に専門  
の機械を導入しては。  
③ 菜の花の栽培者に助  
成金を。

### 環境建設部長

① 菜  
種油と

して給食に利用するなど  
菜種の栽培から菜種油の  
加工・販売までトータル  
に取り組んでいける仕組  
みを推進したい。  
② レンタルも含め、機  
械の導入を検討する。  
③ 町内での循環システ  
ムを早急に構築して、ど  
の段階での助成が効果的  
であるかを検討したい。



環境・景観・交流・教育をキーワードとして毎年実施  
している「れんげまつり」= 4月29日、温水プール  
東側の田んぼで

# 町民活動センターの整備状況は 町長 整備に向け理解を

**丹羽**

大口町は住民団体と連携し、協働によるまちづくりを行う活動拠点として「市民活動拠点施設整備事業」を推進している。

**健康福祉部長**

① まちづくり

**町長**

② 学校の安全確保は最重要課題と認識している。北小と南小の耐震化も同時に進めていく。

① 活動拠点である町民活動センターの整備状況は。

② 町民活動の拠点づくりと小学校の校舎耐震工事では、どちらを優先させるのか。

リ検討会では、「施設ありきではない」という考え方も出てきた。「今まで、町民活動センターが必要なのか」に戻って、再検討をお願いしている。3月の協議会では具体的な資料をもとに説明したが、施設そのものの整備は進展していない。

先人のおかげで今の豊かさがある。その豊かさが消える前に対応するのが我々の責務。そうした視点で町民活動センターを理解していただきたい。



丹羽 勉 議員

**その他の質問**

**問** 町税の不納欠損を減らす施策は。

**答** 延長・休日窓口の開設、徴収強化月間を設けて納税相談に応じた。

## 行政サービスはコストに見合っているか

副町長 一丸となって効果を高めたい

18年度決算による人口一人当たりの行政コスト一覧表

単位：円

	犬山市	江南市	小牧市	岩倉市	扶桑町	大口町
人件費	69,983	58,947	54,822	75,546	57,047	67,057
物件費等	82,320	68,428	99,412	67,071	74,018	112,028
扶助費・補助費等	85,122	79,441	98,779	89,354	107,943	112,198
災害復旧費	0	36	34	0	0	0
公債費	3,847	4,095	3,840	5,893	2,697	1,821
不納欠損額	322	356	1,209	717	123	1,284
合計	241,595	211,303	258,096	238,581	241,827	294,389

※単位未満四捨五入のため、合計が合わない場合がある。  
※この表は、丹羽議員の一般質問資料から関係部分を抜粋した。

**丹羽**

18年度決算によると、町民一人当たりの行政コストは29万4000円。町民は1年間に29万4000円の行政サービスを受けたと感じているだろうか。

① 行政の人的サービスや給付サービスにムダはないか。  
② 行政サービスに改善するところはないか。

**副町長**

① 事業費に対して十分な効果が得られているか、本場に必要ない事業であったか、という意識を持ちながら行政経営を進めている。具体的な数値目標を掲げて、達成度を評価しながら一丸となって行政サービスの効果を高めたい。

**町長**

② 行政サービスは行政がするだけではなく、住民との協働で満足度は高まっていくものと考えている。行政だけではできないサービスが、住民参加によって築かれていくものだと思う。

① 行政サービスの効果は、行政がするだけではなく、住民との協働で満足度は高まっていくものと考えている。行政だけではできないサービスが、住民参加によって築かれていくものだと思う。

# 生ごみの減量にも力を

## 参事 広域化の中で検討する



宮田和美議員

**宮田** 今、大きな問題となっている地球温暖化の原因のひとつに、ごみの焼却がある。水分を多量に含んだ生ごみを可燃ごみと一緒に燃やすことは、環境の悪化、資源の無駄使いにつながる。

二酸化炭素の削減は、これからの子どもたちのために、今の自分たちが積極的に取り組まなければならぬ課題である。それにもかかわらず、最近では生ごみのことが話題にならない。どうなっ



毎週2回、河北区内を回ってポリバケツを回収。3基ある堆肥化処理装置に生ごみを投入すると、1週間ぐらいで一次発酵の堆肥に＝10月2日、河北エコステーションで

**環境建設参事** 生ごみ堆肥化は、2市2町で構成する「ごみ焼却処理広域化第1小ブロック会議」の中で検討していく。

現在河北地区で取り組んでいる生ごみ堆肥化事業は、これからの生ごみ処理を考える上で大変参考となるものと考えている。

### これまでの経過

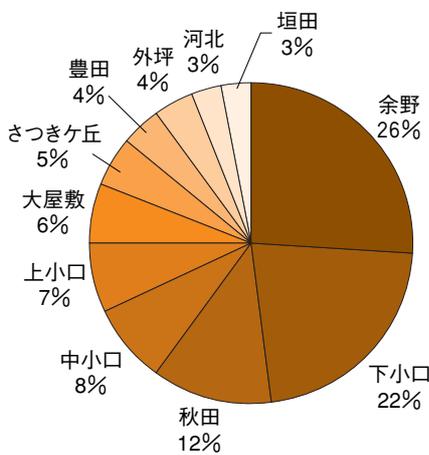
- 14年11月 生ごみ堆肥化実験を開始(クリーンセンター北側)
- 15年9月 河北デモプロジェクト開始(河北グラウンド駐車場)
- 16年11月 河北エコステーション稼働(河北焼却場入口)
- 17年3月 17年度予算から下小口エコステーションに関する部分を削除、修正議案を可決。以後、生ごみの処理方法(町内に1か所の集中型か各地区に1か所の分散型)について協議・検討されたが進展がみられず。

**宮田** 大変多くの人がリサイクルセンターを利用しており、ごみの減量化に役立っている。しかし、リサイクルセンターから遠い住民の利用率が低いことは統計上明らか。

町に1か所ではなく、遠い地区の人のためにも、南部や北部に施設を増設すべきである。

**環境建設部長** 9月議会にリサイクルセンターの駐車場を増設する補正予算を上程している。

リサイクルセンターの増設については、駐車場の増設したことによる効果、今後の利用状況などを精査し、検討していきたい。



## 部長 リサイクルセンターを増やせ 利用状況を精査してから

学校でのアレルギー疾患への対応

# 保健室に温水シャワーを

## 部長 学校の改修工事にあわせて

### 柘植

アレルギー疾患のある子どもたちを学校や保育園でどう

支えるかという取り組みがガイドラインに示された。

子どもたちの安心・安全な生活を保つべき対応が必要である。

① アレルギー疾患の有病率は、

② 幼児期に発症が多い。保育園と学校との情報の連携はどうか。

③ 重症のアナフィラキシーを起こす子供はいるが、また、エピペン投与の考えは。

④ 学校給食のアレルギー対応はどうか。

⑤ プールの塩素対策は、

⑥ 小学校の保健室に温

水シャワーを設置し、軟こうを塗れるよう環境整備を。

⑦ 保健師や教師などに、専門的な研修を行っているか。

⑧ 現状はいいない。万が一、投与が原因で事故が起きた場合は重大な責任問題になる。

⑨ 要望があった家庭には、献立表のほかに給食材料表、使用添加物表などを渡している。

⑩ 要と考える。要望があった家庭に

は、献立表のほかに給食材料表、使用添加物表などを渡している。

⑪ 献立によっては、弁当持参をお願いしている。アレルギーのある子どもに対して別の献立を用

意したり、料理の素材を分けたりもしている。

⑫ 現状では、一刻も早く病院に搬送する方が重

要と考える。

⑬ 要望があった家庭には、献立表のほかに給食材料表、使用添加物表などを渡している。

⑭ 献立によっては、弁当持参をお願いしている。アレルギーのある子どもに対して別の献立を用

意したり、料理の素材を分けたりもしている。

⑮ 現状では、一刻も早く病院に搬送する方が重

要と考える。

⑯ 要望があった家庭には、献立表のほかに給食材料表、使用添加物表などを渡している。

⑰ 献立によっては、弁当持参をお願いしている。アレルギーのある子どもに対して別の献立を用

意したり、料理の素材を分けたりもしている。

⑱ 現状では、一刻も早く病院に搬送する方が重

要と考える。



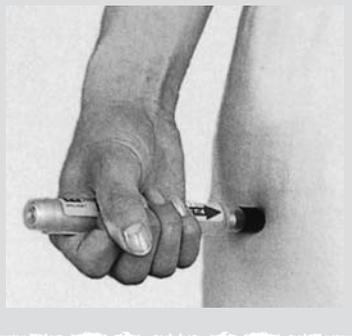
柘植 満議員

### アナフェラキシー

ハチ、食物、薬物などが原因で起こる急性のアレルギー反応。じんましん、呼吸困難、めまい、意識障害などのショック症状を引き起こし、生命を脅かすこともある。

### エピペン

アナフィラキシーの症状が起こった場合に使うアドレナリン（薬液）と注射針が内蔵されている自己注射薬（商品名）。注射器の先端を太ももの前外側に押し付けると、内蔵される注射針が出て筋肉内注射ができる。



出典：学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン

表1. アレルギー疾患保有率

施設	人数	保有率
<b>保育園</b>	108人	19.3%
南保育園	26人	23.0%
中保育園	26人	16.6%
西保育園	22人	13.4%
北保育園	34人	27.2%
<b>小学校</b>	81人	5.3%
南小学校	12人	3.3%
北小学校	27人	4.8%
西小学校	42人	6.9%
<b>中学校</b>	26人	3.8%
<b>合計</b>	215人	7.7%

※保育園は9月1日、小中学校は5月1日現在の数値。

⑤ プール後の温水シャワー浴が有効であることから、温水シャワーを設置している。

⑥ 学校の改修工事にあわせて検討する。

⑦ 8月に養護教諭と保健師を対象とした講演会が開かれ、出席している。時間が許す限り、今後も研修に努めさせる。

### 柘植

アレルギーに対する冊子やアレルギー食のレシピの本など、国から無償で提供されている。取り寄せて、保護者に配付または保健センターの窓口を設置する考えは。

### 健康福祉部長

ぜひと積極

的に検討させていただきたい。

# 小学校での外国語活動は 教育長 来年から授業時間を増やす



木野春徳議員

## 木野

20年3月に新学習指導要領が告示され、小学校5・6年生は、週1時間（年間35時間）の外国語活動が、23年度から必修となる。移行措置期間である21年度から、どのように取り組むのか。

## 教育長

外国語活動にあてるため、21年度から授業時間を1時間増やす方向で検討している。

大口町の小学校では南小には週1日、北小と西小には週2日、外国人指導手を派遣し、英語に親しむ機会を設けてきた。外国語活動の指導は、学級担任や専科教員が外国人指導手と協力しながら進めていくことになる。

## 新学習指導要領

週5日制への対応と、教育のゆとりと充実を目指してきた現行の学習指導要領は、授業時間の減少、学習内容の削減、それに伴う学力低下が問題とされてきた。

今回の改訂で、言語活動・体験活動の充実、理数教育、伝統や文化に関する教育、道徳教育、外国語教育の充実が図られる。

# 学校支援の活動はようになった 部長 今年には清掃活動を計画



広報おおぐち7月号より



第1回の清掃活動支援=10月10日

## 木野

地域全体で学校を支援する「学校支援地域本部事業」が、大口中学校で立ち上がった。

## 教育部長

この事業は、地域全体で中学校教育を支援する目的でつくられたもの。6月25日に大口町実行委員会が結成され、同時に「学校支援地域本部」が設立された。7月に3回、事業説明会を実施し、ボランティア登録をされ

た人は42人になる。花壇の手入れ、校舎の修繕、クラブ活動の支援などさまざまな提案がなされた。20年度は時間的余裕がないことから、とりあえず日常清掃の活動支援が計画されている。

# 広域連合に是正を要望せよ

## 部長 調査して、必要なら要望も

**吉田**

愛知県では、65歳から74歳まで

③ 広域連合に是正を要望していただきたい。

の障がい者は、後期高齢者医療制度に加入しなければ福祉医療費の給付が受けられない。そうした県は全国に9つしかない。

① この現実をどう考えるか。

② このための保険料はいくらかかるのか。

**健康福祉部長** ① 今要であった保険料が新たに発生した人もいる。多少の矛盾があるかもしれないが、新制度での負担はやむを得ない。

愛知県の福祉医療制度は、他の県と比べても見



吉田 正議員

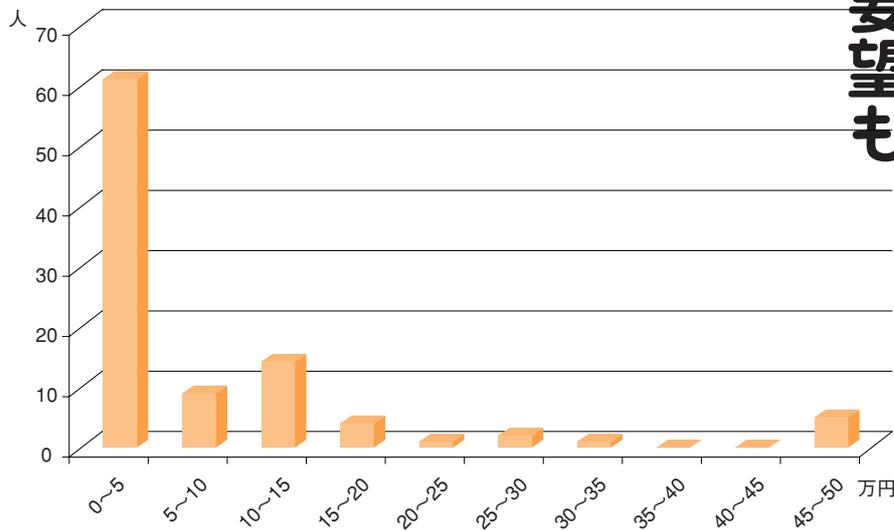


図1. 65歳から74歳の障がい者で後期高齢者医療に加入している人の年間保険料

劣りしない。  
② 図1のとおり  
③ いま一度よく調査して、必要であれば要望してきたい。

**その他の質問**  
問 低所得者の国保税負担を減らせ。  
答 所得に応じた負担になっところ。

## 障がい者に合わせた施策を 部長 個々の能力を生かす側面支援を

**吉田**

障害者福祉をテーマに、長野市の「ながの障害者生活支援協会」と、恵那市の「たんぼ作業所」を視察した（関連記事16P）。

両方の施設とも、一人ひとりの障がい者の適性に合わせて、仕事を開拓している。

これらの施設を参考に、これまでのような「押し付け」的な援助を見直すべきではないか。

**健康福祉部長**

施設の歴史、

規模など大きく異なるが、障がい者の自立を支援する施設であることは同じ。個々の障がい者が、能力を最大限に発揮できるような側面的な支援を行いたい。

**町長**

おおぐち福祉会 は後援者が会員

となって支援し、自立できるところまで来た。

施設自らの発想で事業を組み立てていくことも必要。

ごみ焼却施設の建設

# 生ごみ堆肥化の検討も

## 部長 検討課題として取り組むことに



田中一成議員

(右) 種堆肥と混ぜながら完熟堆肥となる生ごみ  
 (下) 可燃ごみと同様に回収される生ごみ  
 回収ボックスII 滋賀県甲賀市水口町



**田中**

2市2町から5人ずつの委員を選出した、ごみ焼却施設の建設候補地検討委員会が立ち上がる。

① 焼却施設の建設候補地の検討だけに限定せず、

**環境建設部長**

① 生

ごみ堆肥化、あるいは炭化等の資源再生化なども検討課題として一緒に取り組

いへべきだ。

② 焼却灰の全量撤去には膨大な費用がかかる。

この問題は全国の自治体の大きな課題でもある。全国の動向を見守りつつ、江南丹羽環境管理組合へ問題提起をしたい。

生ごみを堆肥化する施設なども総合的に検討すべきと思うがどうか。

② 現在の場所に建設する、しないにかかわらず、施設内の最終処分場に埋め立てられている焼却灰

などの全量撤去を求め

ていくべきだ。

的に協議して進めたい。

ので、コストの問題を含

め、地元の皆さんと総合的に協議して進めたい。

んでいくことになる。焼却施設と生ごみ堆肥化施設は、必ずしも同一敷地内にある必要はないので、コストの問題を含め、地元の皆さんと総合的に協議して進めたい。

## 部長 拡幅予定地を確保せよ 地権者にも願っている

**田中**

県道齋藤羽黒線の両側1・5メートルは拡幅が予定されている。余野区画整理事業や県営住宅の建て替えの際には、道路から下がって事業が実施された。

しかし、最近になって拡幅予定地内に住宅が建てられている。行政の対応に一貫性がない。

**環境建設部長** 将来、道路となる土地に建物を建築する場合は、都市計画法第53条の許可が必要。道路用地に直接かからなくても買収の対象となる敷地に建築する場合には、用地買収に協力する旨の誓約書をもらっている。

**環境建設部長**

将来、道路と

なる土地に建物を建築する場合は、都市計画法第53条の許可が必要。道路用地に直接かからなくても買収の対象となる敷地に建築する場合には、用地買収に協力する旨の誓約書をもらっている。

現実問題として建築を差し止める法規制はない。しかしながら、将来の円滑な道路整備のためには、道路拡幅予定地内での建築を控える必要があることは認識している。引き続き、地権者にも願っている。

**その他の質問**  
**問** 浸水被害を防止するため、農地に助成を。  
**答** 前向きに検討したい。

# 追跡

1年前の一般質問

## あれからどうなった？

議会だよりでは、定例会での一般質問の要旨を掲載していますが、その後どのように町政に反映されたかも追跡調査しています。今回は、平成19年9月定例会からピックアップしました。

### 資源ごみを買ひ上げては

リサイクルセンターへ資源ごみを持ち込んだ場合に買ひ上げをしては。

(丹羽 勉議員)

### 環境建設部長答弁

### 早急に検討したい

ごみ減量に対する意識を高めってもらうため、買ひ取りについては早急に検討したい。リサイクルセンターの利用形態についてもあわせて検討する。

### どうなった

### 事業系の古紙類を購入

事業所から回収したダンボール、雑誌などの資源ごみに助成金を交付する。回収業者による回収は1キロ当たり1円、リサイクルセンターに持ち込んだ場合は5円助成する。ただし、事前に事業者の登録が必要。

一般家庭の資源ごみに対しては、スタンプカード制を導入している。

### 質問者の満足度



町民と行政が協働でごみ減量に取り組み、成果を上げていることに満足している。引き続き、焼却ごみ20%削減の目標達成に努めていただきたい。



SPコード（文書の隅に印刷された四角形の部分）をセットすると、文書の内容を音声で聞くことができる活字読み上げ装置

### 音声コードの普及を

視覚障がい者のため各窓口や図書館などに活字文書読み上げ装置を設置するとともに、音声コードの普及を図るべき。

(柘植 満議員)

### 健康福祉部長答弁

### 機器を購入する

補助事業を活用して、平成20年度に装置を数台購入する。設置場所は、ほほえみプラザなどを予定。

### どうなった

### 購入し、設置済み

活字文書読み上げ装置を4台、拡大読書器を2台購入し、機器は福祉課、地域包括支援センター、図書館、情報課に設置した。

役場からのご案内などに音声コードを印刷することは、順次進めていきたい。

# まちづくりへの提言 住民100人で協議

## 総務文教

地域の振興方針、活動計画を策定し、地区の各組織をネットワーク化するとともに、地域振興の活動や環境整備に對して補助するものです。

新潟県燕市は各種建設事業の再検討と、総合計画・行政改革大綱を策定するため、「まちづくり住民会議（100人委員会）」を設置。

100回以上開催。100人委員会では、新市の建設事業の検討結果、総合計画・行政改革大綱の骨子を作成し、市に提言をいたしました。

大口町も、まちづくり条例の制定が進められています。時間と手間がかかっても、住民の声が反映される取り組みをしてほしい。

### 自分で計画して行動

地域の課題は地域の住民が考え、行動することが重要との考えから、富山県魚津市では地域特性事業を創設。この事業は住民が地



担当者の説明に耳を傾ける委員  
＝新潟県燕市で

# に生かして

## 委員会 視察報告

<視察日>

総務文教 7月 8日・ 9日  
健康福祉 7月14日・15日  
環境建設 7月17日・18日  
議会広報 8月20日・21日

## 健康福祉

# 障がい者の適性を見極め、仕事を開拓



説明をしてくれた施設長さん(中央)＝恵那市「たんぼぼ作業所」

長野市の「ながの障害者生活支援協会」は、

グループホーム9施設、就労支援センター、デイサービスセンターのほか、パン工房やレストランまで事業展開しています。パン工房やレストランは、就労の受け皿になっています。

恵那市の「たんぼぼ作業所」は、木工を行う福祉工場、グループホーム、障がいのある高齢者を受け入れるアメニティハウスなどがあります。

木工の福祉工場では大手企業から園芸用品の受注があり、月7万円の賃金をもらう人も

いるそうです。二つの施設に共通していることは、障がい者の適性を見極めて仕事を開拓していること、高齢者でも自立できるようサポートがしっかりとっている点です。

施設には障がい者の適性を導き出し、仕事を開拓していく姿勢が求められると同時に、そうした体制が取れるよう町が援助する必要があります。

# ごみ処理有料化 住民が提案

## 環境建設

勢には感心しました。

### 街の魅力を高める

鳥取県米子市のクリーンセンターは、日量90トンの焼却炉3基と灰溶融施設を併設する最新鋭の焼却施設。焼却に伴う余熱を利用して発電し、施設内の電力のうち86%を賄う。建設費は144億円。

島根県松江市は観光都市を目指したまちづくりを行っています。

市の施策として、ごみの排出量8%減（12年度比、目標年度22年）のため、家庭系のごみ処理有料化を実施。40リットルの可燃ごみ大袋が1枚60円と高額ですが、住民からの提案で決定されたそうです。

視察した玉造地区では、業界関係者と住民による検討委員会を立ち上げ、出雲神話と温泉街を生かした整備計画を作成。テーマごとに地区を4つに分けてそれぞれのテーマに沿ったモニユメントや案内看板の設置、足湯、散策道、ポケットパークなど、街全体の魅力を高める整備に力を入れていました。

最新鋭の施設がありながらも高額な処理費の有料化に取り組む姿

また、「きれいなま



焼却施設の説明を受ける委員  
＝米子市クリーンセンターで

ちづくり条例」を制定して、市内全域を対象に、①空き缶やたばこの投げ捨て②落書き③飼いの犬のふんの放置④歩きながらの喫煙——を禁止しています。

# まちの施策

各常任委員会は、所管事務の調査を行うため、それぞれの先進地を視察しました。本会議では諸般の報告として委員長から調査内容の報告を行いました。視察の成果が町の施策に反映されるよう町の執行部に要望もしました。

## 誰のため、何のための 広報かを意識して

### 議会広報



クリニックを受けた  
議会だよりNo.173

議会広報常任委員会は、全国町村議会議長会が主催する議会広報研修会に出席しました。

全国から380人もの議会関係者の参加があり、分りやすい文章表現や表記方法、広報はどうあるべきかなど、基本的な編集姿勢について講義を受けました。

また、議会広報クリニックでは、編集・出版アドバイザーの芳野正明氏に、大口町の議会だよりの指導を受けました。

大口町の議会だよりは①住民サイドに立つた分りやすい説明②編集・レイアウトにメリハリがある③見出しや資料・写真の配置が適切で説得力のある紙面

これまで以上に、「誰のため、何のため」の議会広報なのかを考えながら、広報の紙面づくりに取り組んでいきます。



——との評価を受けました。

一方、表紙では①全面写真と花の組み写真には無理がある②写生大会なのに、子どもの手元が隠れていて残念——との指摘でした。

これまで以上に、「誰のため、何のため」の議会広報なのかを考えながら、広報の紙面づくりに取り組んでいきます。



大口町を拠点に常に新しい音の創作にチャレンジしながら積極的に演奏活動をしている創作和太鼓集団の尾張太鼓。創設者の山崎さん（上小口在住）にお話を伺いました。

# まちの元気者



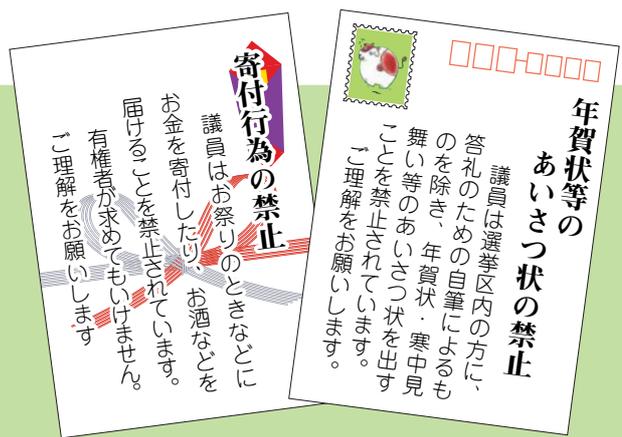
毎週土曜日18:00~21:00中央公民館の娯楽室で練習しています。

**【急募】16歳~30歳ぐらいまでの新メンバー募集中です！**  
まずは練習をのぞきに來てください。

**取材を終えて**  
太鼓の響きを通じて、一生懸命さと楽しさが耳に、目に、そして心に伝わってきます。  
それぞれが仕事を持ちながらも、汗だくになってひたすら太鼓を打ち込む姿には、ワークライフバランス（仕事と生活の調和）が充実している感がありました。  
多くの尾張太鼓さんのファンが見守っています。これからも頑張ってまちを元気にしてください。（岡 孝夫）

- ♪ **いきなりですが、プロ・アマどっち？**  
「もちろん、アマチュアです」
- ♪ **それでは、みなさん、普段はどういったお仕事を？**  
「一般のサラリーマンはもとより、医師、フリーの司会者、接骨院の院長、高校生など、さまざまです」
- ♪ **一番の楽しみを教えてください。**  
「演奏を通じ、客席とステージの一体感を肌で感じる瞬間、そしてお客さまから大きな拍手を頂いたときは、太鼓をやっていて本当に良かったと実感します」
- ♪ **活動方針とこの先目指す方向は？**  
「和太鼓を通して地域社会に役立ちたい。そして、第2回自主公演の開催を活動方針としています。これからもアマチュア界のトップレベルを目指してパチを握り続けていきます」
- ♪ **町政や議会への要望がありましたら。**  
「どうぞ、大口町のPRに尾張太鼓を利用してください。私たちは精いっぱい、元気パワーを発信します！また、活動を継続していくためには、太鼓の購入費や修繕費等、多額の費用がかかるので、さまざまな角度から支援していただけると大変ありがたいです」

尾張太鼓のホームページは  
<http://www.5a.biglobe.ne.jp/~owari/>  
または町ホームページのリンク集からどうぞ。



## 皆さん議会傍聴に 来てください

次回定例会  
**12月3日(水)から** 予定  
手続き簡単  
役場3階で住所と名前を書くだけ

### 編集後記

私たちを取り巻く社会の中で、今残念に思うのは、モンスターペアレントという言葉が耳にすることです。「自分さえ良ければ」ということではないかもしれませんが、私たちの年代ではとても考えられないことが、現実にはこの町内でも起きていると聞きます。

今、こうした人と対応されている先生方のご苦労は計り知れないものだと思います。

自分では気付かないうちに人に迷惑をかけていないか——。自問自答している昨今です。（宮田和美）

**発行責任者** 吉田正輝  
**議長** 吉田正輝  
**議会広報常任委員会**  
委員長 土田進  
副委員長 岡孝夫  
委員 吉田正、宮田和、木野春徳、柘植満、宮田和、木野春徳